

○「低コスト林業の推進に向けた現地検討会」を開催

10月14日(木)当署と三八・上北流域林業活性化センターの共催により、「低コスト林業の推進に向けた現地検討会」を、十和田市奥瀬字上指久保国有林3林班と2小班において開催し、県民局職員、市町村関係者、森林組合・林業事業体等の林業関係者約140名が参加しました。

今回で5回目となる現地検討会は、木材市況の低迷などから間伐が進まない現状を踏まえ、伐採・搬出作業等の低コスト化が最重要課題であると捉え、高性能林業機械及び低コスト路網の普及と効率的な作業仕組みの定着を図ることを目的に実施しました。

午前の現地検討会では、上北森林組合の作業現場で、①低コスト路網作設の考え方、②ハーベスタによる伐倒・枝払い・造材作業、新型の欧州型フォワーダ「F801」による運材作業を見学し、意見交換を行いました。

午後の勉強会では、①東北森林管理局の担当者より低コスト路網と作業システム、高性能林業機械の導入状況などについて、②上北森林組合より民国連携間伐事業の紹介、③青森県の担当者より青森県で実施している低コスト間伐モデル事業についての説明がありました。

今回の検討会を通じ、高性能林業機械及び低コスト路網の普及や効率的な作業仕組みによる事業の低コスト化がさらなる間伐の推進に繋がることを期待して、今年度の現地検討会を終了しました。



ハーベスタによる作業の見学



新型フォワーダによる運材作業



メーカーによる新型フォワーダの説明



座学(十和田湖公民館)